

【「農」がテーマの観光施設内の農園】～福岡県宗像市～

1 市民農園名

正助ふるさと村市民農園(宗像市吉武地区)

2 地区の概要

正助ふるさと村がある吉武地区は宗像市東部に位置し、宗像市中心部から20分程度である。

宗像市内でも有数の農村地帯であり、農林水産大臣賞を受賞した大豆をはじめ、米、野菜作物といった農産物やそれらを用いた納豆や味噌、漬け物などの加工品に定評がある。



正助ふるさと村市民農園

3 市民農園開設の経緯

昭和63年の吉武地区県営圃場整備事業に係る農村公園整備を集約し、正助翁生誕地に設置する提案が地元住民からなされた。同年には市役所に観光係が創設され、観光行政推進に着手したことが重なり、平成元年に「正助ふるさと村」建設構想に発展した。施設工事に際しては、国や県等の助成事業が活用され、平成4年4月に「農」をテーマとする観光拠点施設として「正助ふるさと村」がオープンした。

市民農園はこの時に「農業体験並びに交流及び学びの場を提供することにより、市民の福祉の向上を図る」ことを目的に同施設内に設置されることとなった。



農園内に設置される掲示版

4 施設概要

- 所在地
福岡県宗像市武丸199
- 施設総面積 57,481㎡
- 区画面積 1区画あたり 15㎡
30㎡
- 区画数 15㎡ 96区画
30㎡ 59区画
- 利用料金
15㎡ 5,400円/年間
30㎡ 10,800円/年間
- その他
駐車場、トイレ、シャワー、農機具貸出倉庫、水道(井戸)
契約期間11ヶ月(3/1~1/31)中途契約可
【継続更新の場合は2月利用も可能】



栽培風景

5 管理・運営等

管理運営主体：(株)正助ふるさと村

6 農園の特徴

- (株)正助ふるさと村の農園課スタッフ2名が主な管理人となり、草刈り等の管理業務や利用者への栽培指導などを行っている。
- 4年に1回、農園の維持管理と区画利用の公平性確保のために、全区画を対象に区画整備をしている。社員の手作業による草取り作業や近隣の牧場(すすき牧場)から無償で提供を受けた堆肥の施肥等を実施している。
- トイレ、農機具の無料貸出、農園近くに整備された駐車場、売店、シャワー等、設備が充実していることもあり、空き区画は少ないが、必要に応じて区画増設を行っている。
- 宗像市が北九州市と福岡市の2大都市圏の中間地点に位置しており、双方の都市からアクセスが容易であることが、利用者増に繋がっている。
- 利用者の募集は市の広報誌、新聞折込広告(集合広告の1部に募集記事を掲載)、ホームページの掲載で行っている。
- 農園近隣の売店「ショップにんじん」で野菜の苗などを購入可能。シャワーやトイレも設置されている。

7 イベント・交流活動等

- 利用者のために、季節に応じた栽培に関する記事や利用への注意事項を記載した「農園だより」を4半期に一度作成し、農園掲示板に掲示している。
- 利用者のために農園教室を年3回(3、4、9月)に開催し、講師を招いて栽培指導を行っている。教室での講習内容は事前に利用者からアンケートをとって決めている。
- 利用者の憩いの場づくりを目的に、交流会を開催していた。これまでは農園で収穫した野菜を使った料理の提案などを行っていた。今年から再度実施する予定であるが、内容はアンケートをとって決めることとしている。

美味しい野菜を作りましょう！
市民農園ご利用の皆様へ

参加無料！ 予約不要！

農園教室 開催

講師：吉田健次郎先生

正助ふるさと村・農業研修生の講師として活躍している吉田先生が直接指導。初心者の友はもちろん、さらなるレベルアップを望むベテランさんにも必見！質素な茶タイムがあり、肥料や防草剤についての質問にもお答えします。この機会に是非ご参加ください。

日程：下記参照
時間： 午前10時開始(約1時間半)
※時間厳守
場所： 市民農園 111番

参加の際は 111番の標識に 必ずお越しください！

| 日 程 | 内 容 |
|--|-----------------------------------|
| 3月20日(日) <small>※開催が変更されました。</small> | 『市民農園利用についての説明』『土作り』『春ジャガイモの植えつけ』 |
| 4月10日(日) <small>※休園日：4月27日(日)</small> | 『夏野菜の植えつけ方』『春ジャガイモの土寄せ』など |
| 9月4日(日) <small>※休園日：9月11日(日)</small> | 『秋の野菜の植えつけ』『秋ジャガイモの植えつけ』など |

※雨天時は会場に集合し、雨天はお断りさせていただきます。
市民農園はシャワー完備です。是非ご利用ください。(無料)

お問合せ： ☎ 0940-35-1100 正助ふるさと村



農園近隣のショップ「にんじん」
トイレやシャワーが設置される

農園教室案内

8 施設設置効果

- 市民農園利用を通じて都市農村交流が図られ、このことが地域経済活性化にも貢献している。

(利用者の声)

- ・ 自分で望んだやり方で野菜が栽培できるのでよい。
- ・ 身体を使い、健康のためにも、四季を感じる事ができる良い環境だ。
- ・ 退職後、市民農園を利用して新たな友達ができた。交流もできて楽しい。
- ・ 孫と一緒に野菜が作れて嬉しい。孫がきれいな野菜でも、自分で作った野菜は食べてくれる。

9 今後の課題・問題点等

- 4年に一回、農園管理と利用者希望区画の公平性確保のために農園整備をしているが、利用者によっては4年かけて土作りをしたのに、農園整備のために更地になるのは困るとの声もある。
- 利用者の中には農園にあまり来ない人もいるため、農園側で手入れを実施したものの、その利用者から苦情が出たこともあった。



農園周囲に設置された鳥獣害防止柵

【問い合わせ先】

(株)正助ふるさと村 電話 0940-35-1100

<http://www.syosukemura.com/>